

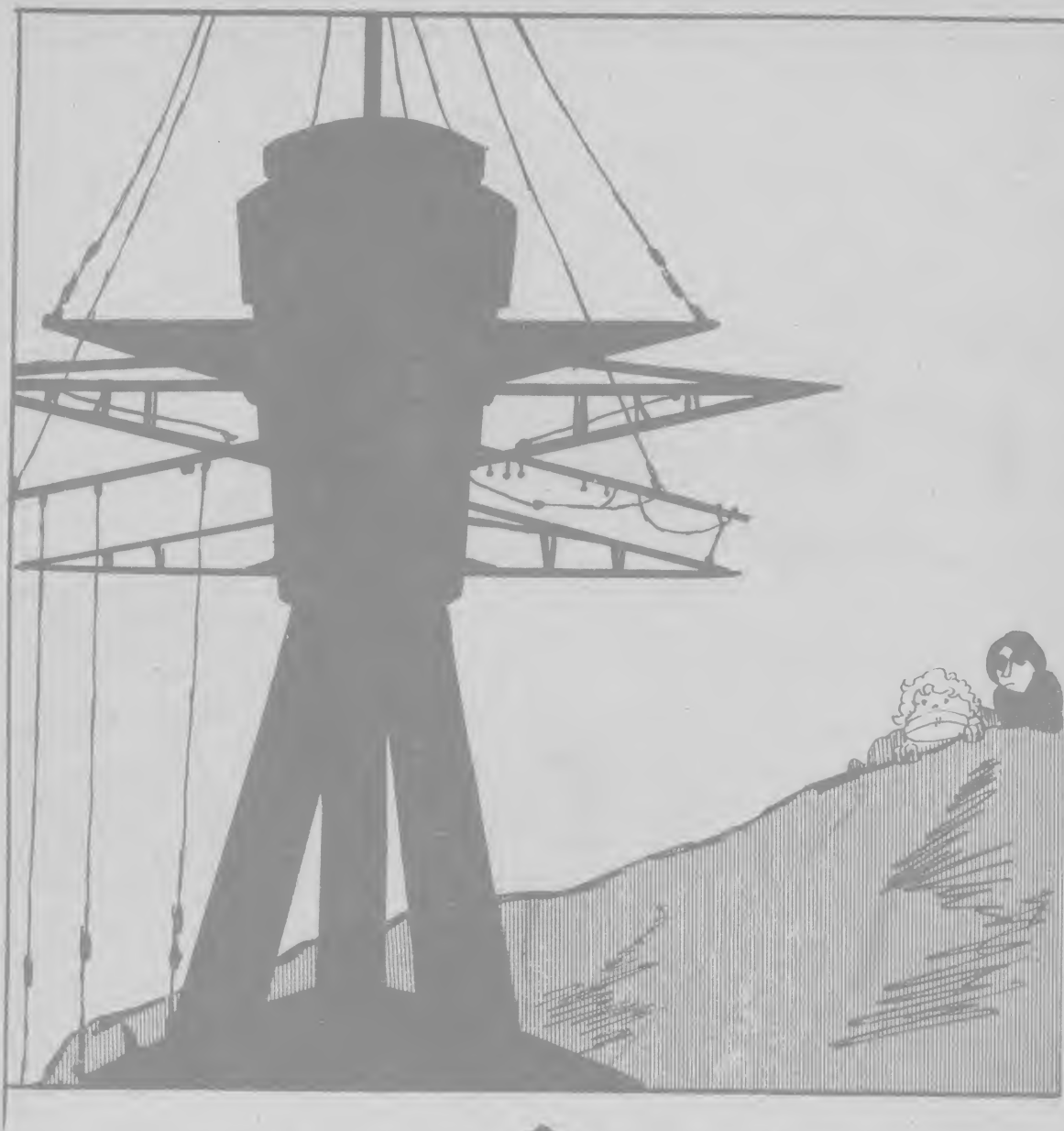
下巻

原作 二宮修子

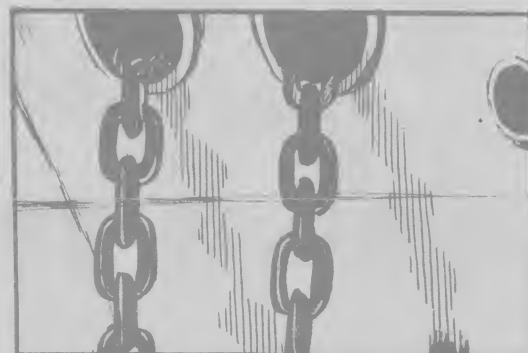
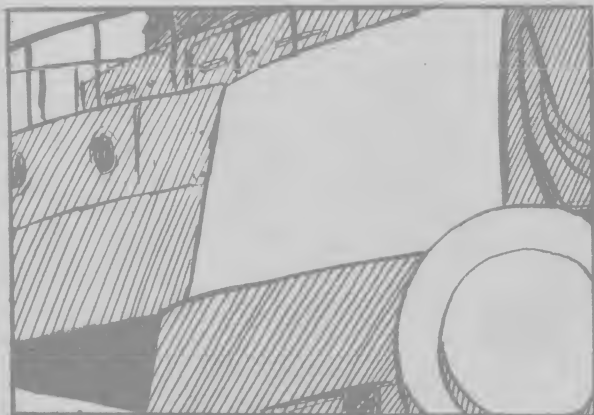
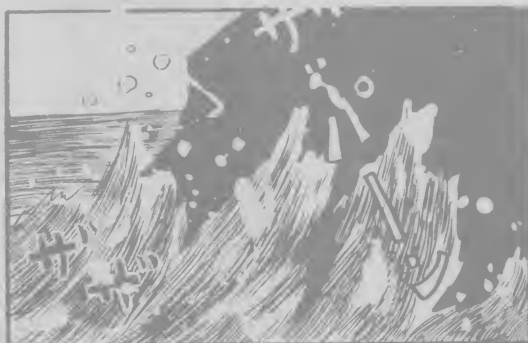
脚本、画 つりたくにこ

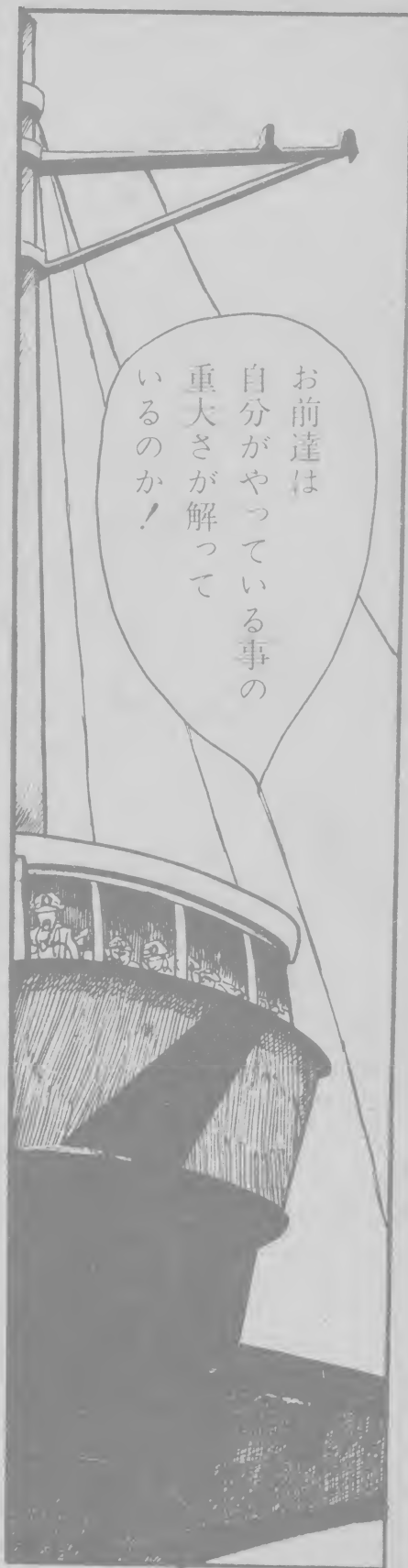


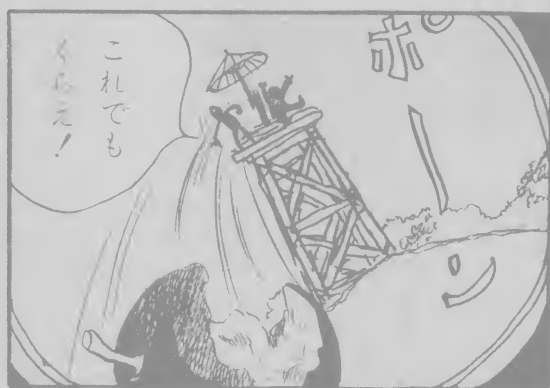
血戦記



壯烈無上國



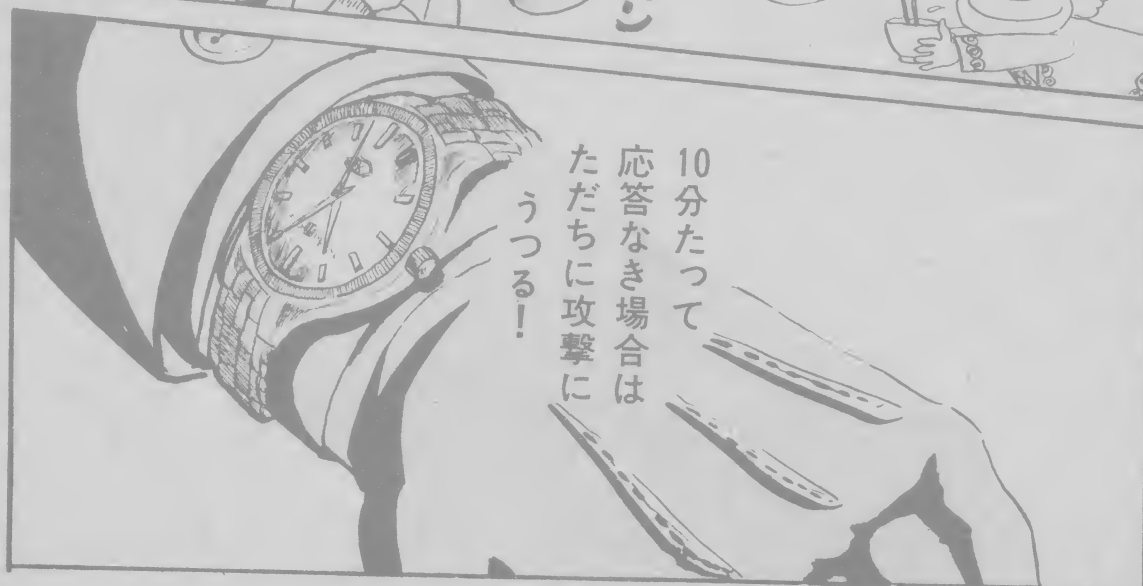


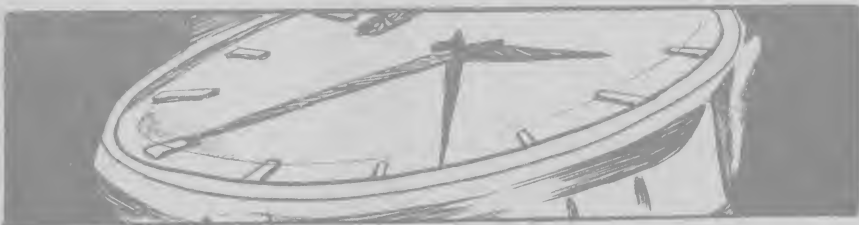


武器をすてて
すみやかに
出てこい!



さもなくば
実力で
君達を
排除する



[illegible]

戦え！
聖無土国の
神がかりの強さを
鬼畜日本帝国に
思い知らせるのだ

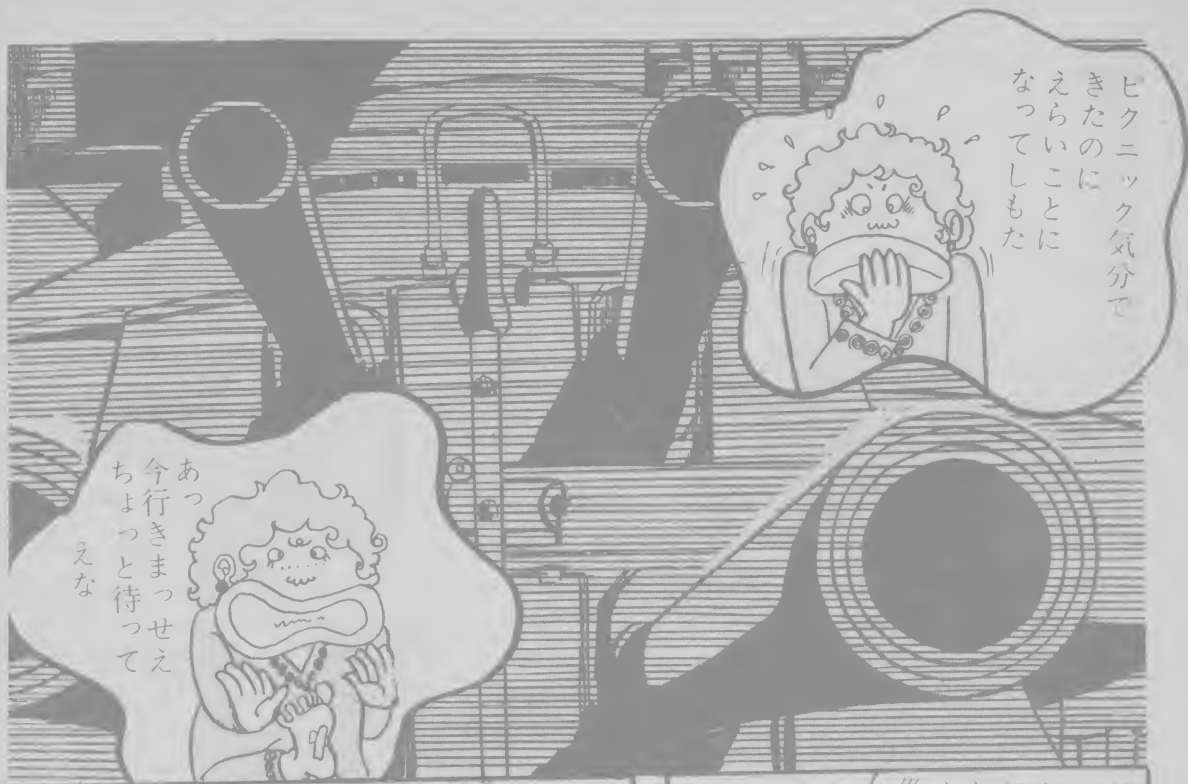
絶対に
我々は勝つ！
その論理的確証は
ワシが正義の神に
願かけをした
神とは自分だ
ワシは勝つと言った

ゆえに
勝利は
我らのもの
だ！

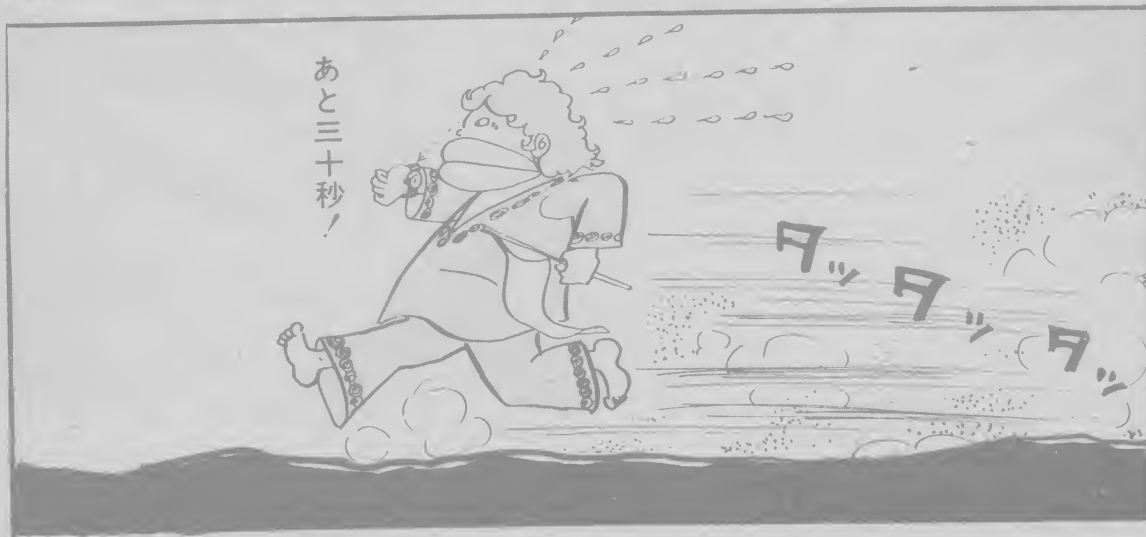
この忙しい時に
一人で遊んで

連絡はついていて
まもなく海外からも
我々の援助軍が
武器を持って
到着する
諸君！ それまで
我々は団結し

おまえ
もつと
カッコイ言葉
つかって奴らの
ヒロイズムを満足
させなきゃ鼓舞
できないぞ
だってえ恥かしくて

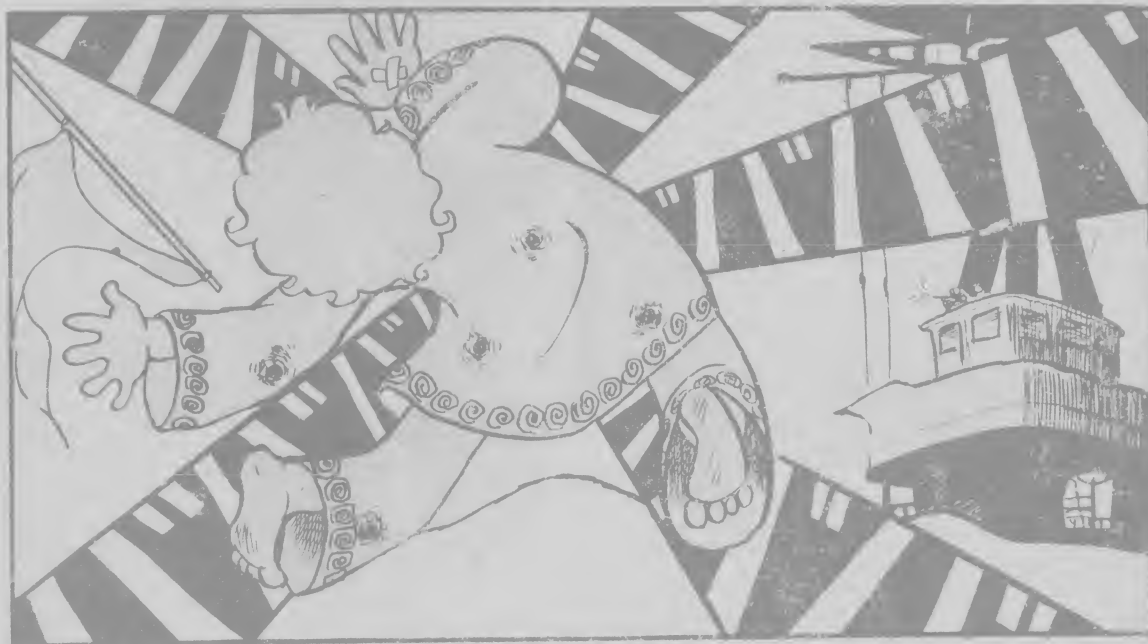


*「お氣違あやまちいさん」の訛なりつた語





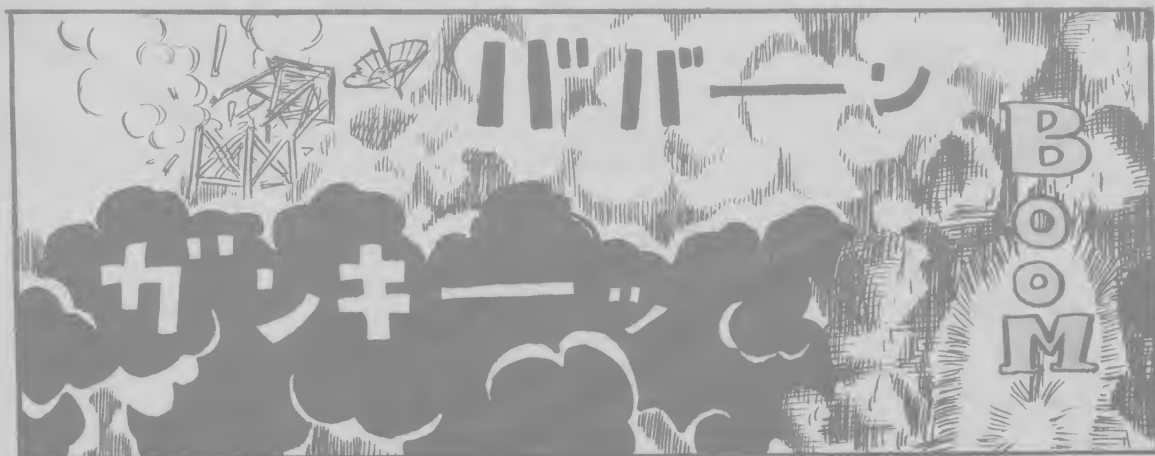
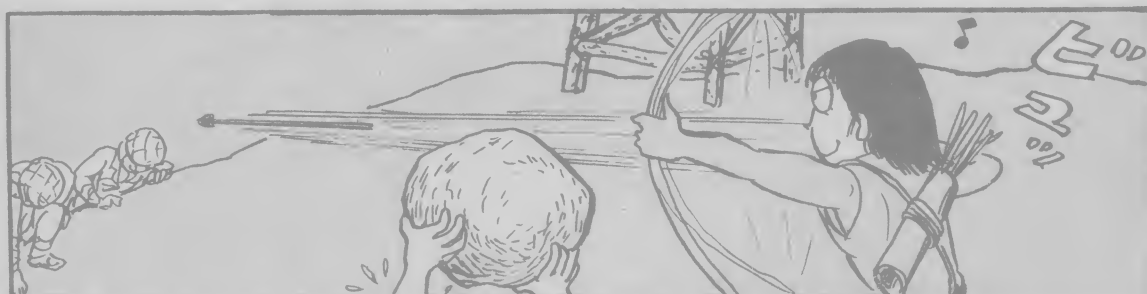


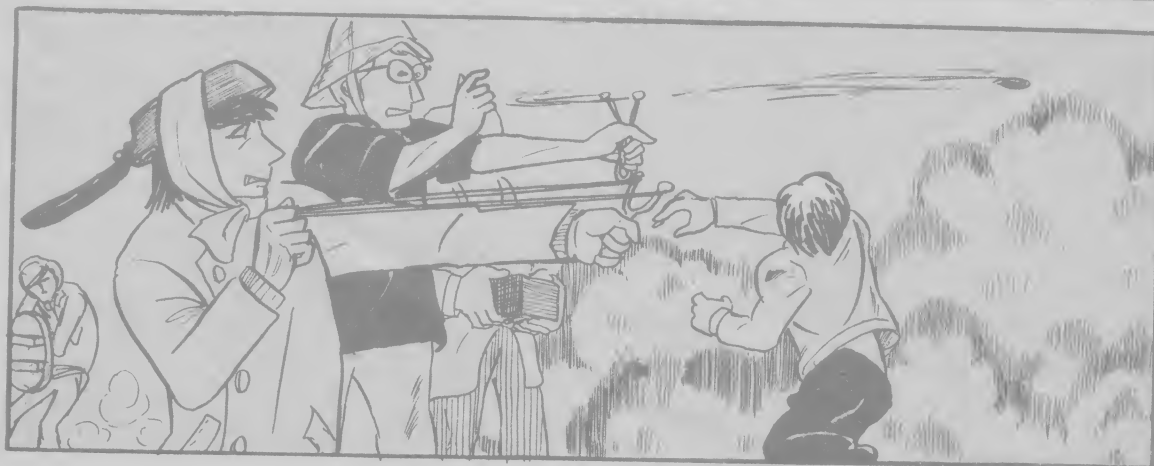
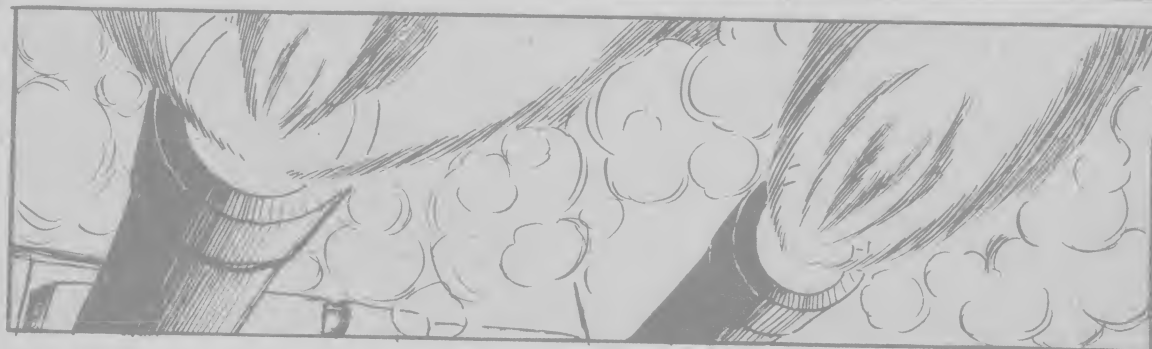






神の機光背に受けピンつのももききリリとして三千年世界の立てなみし

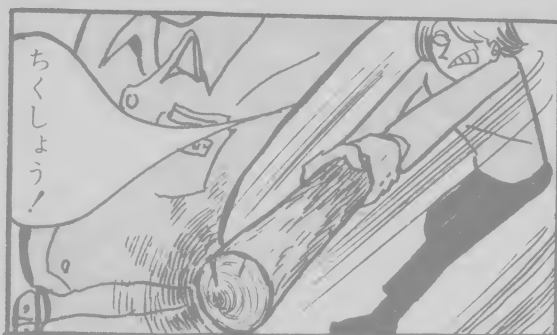




注 江戸時代の判官最良は、他の無関係な物語にも義経を登上させ、それによって観客は満足した



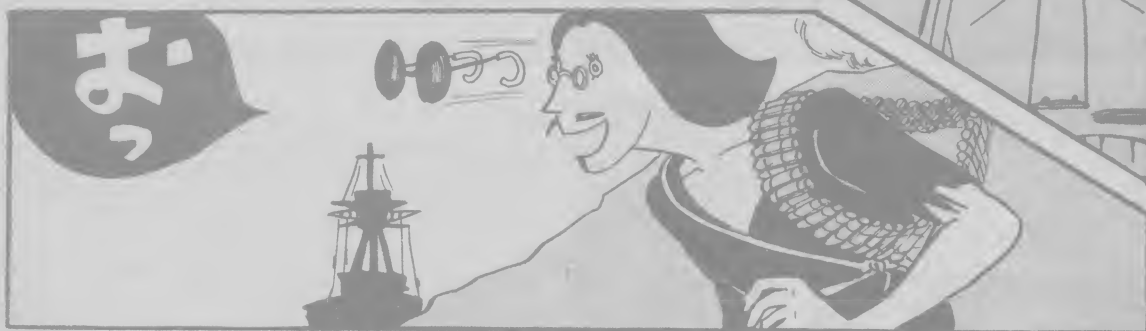


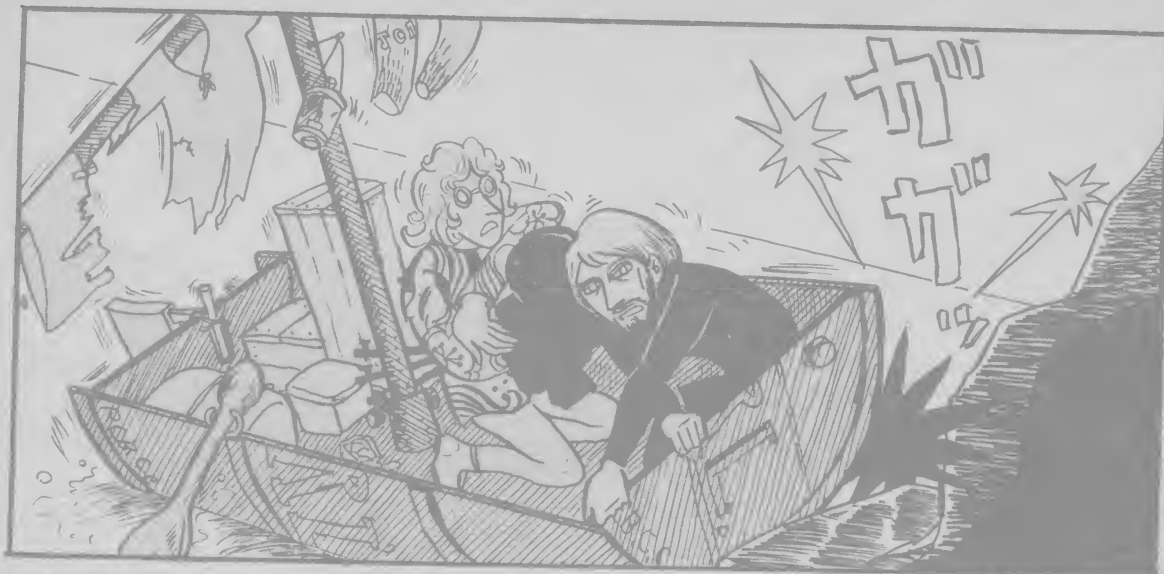


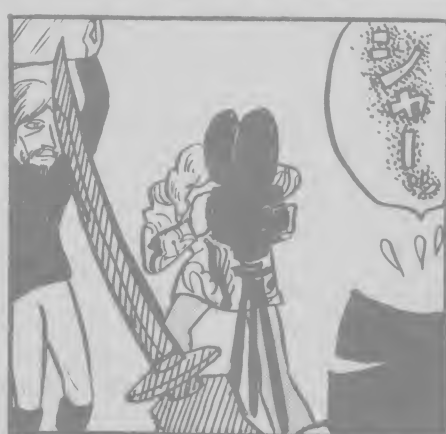
跡まで残る死顔に
泣死顔
残すな
残さじと
にと笑顔の
しろじろと

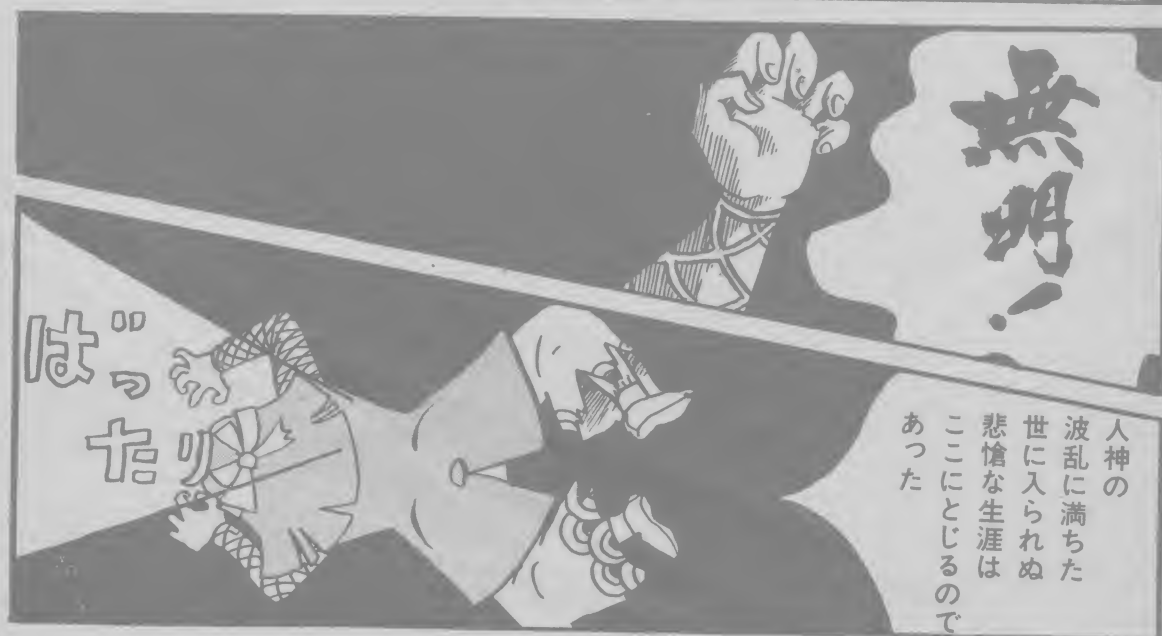
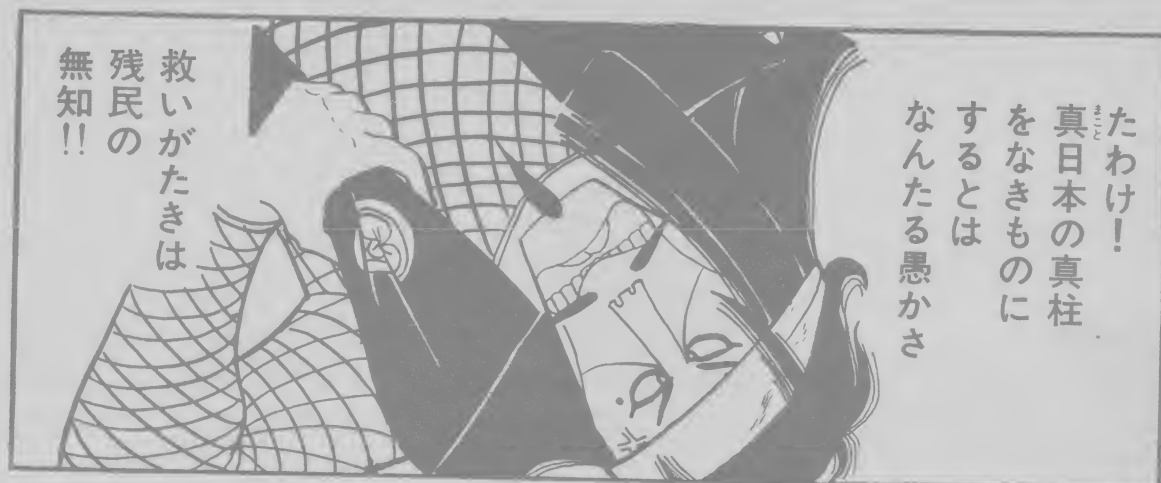


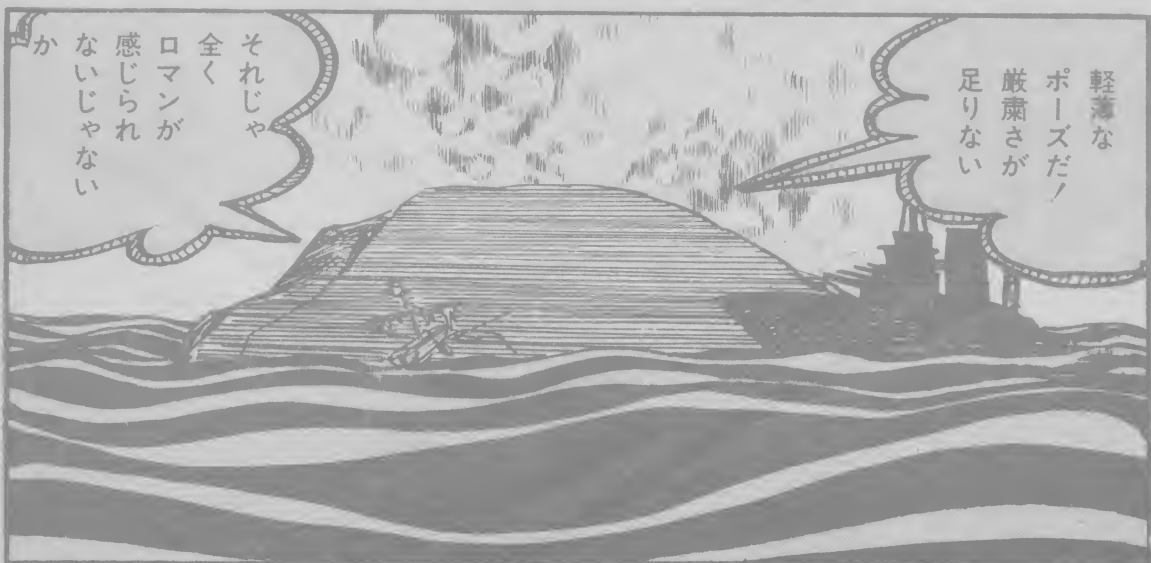
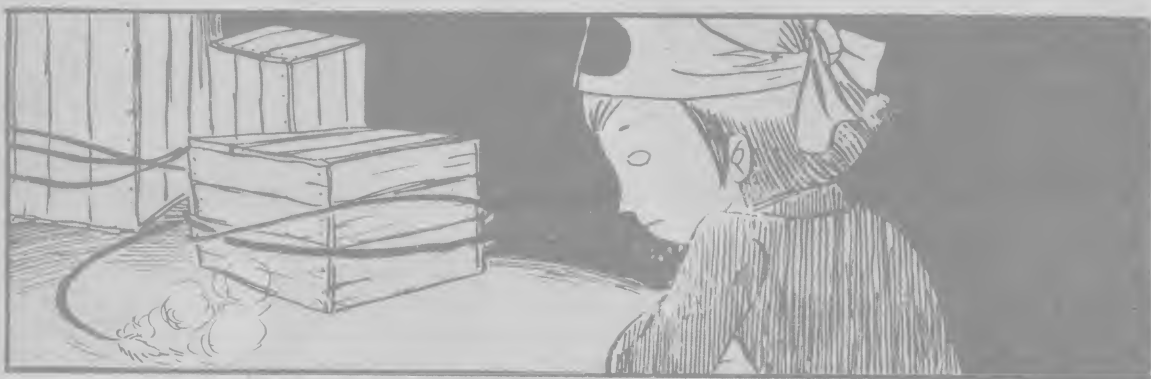
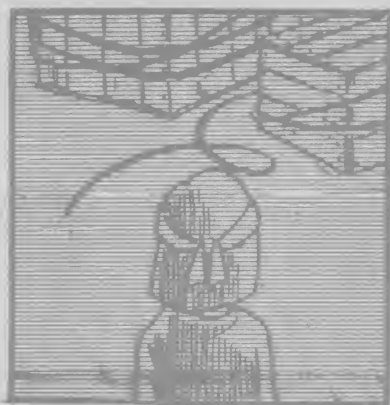


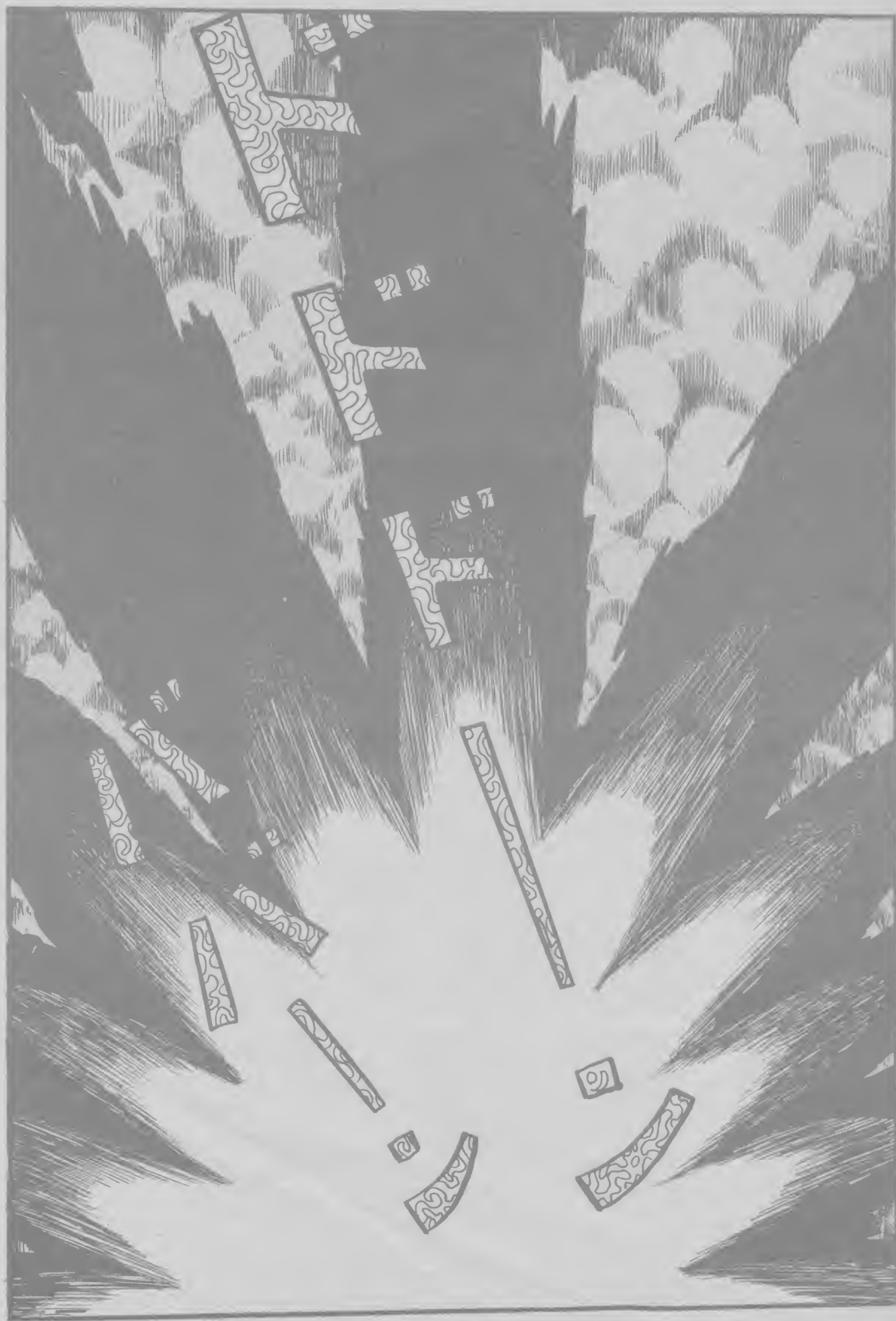


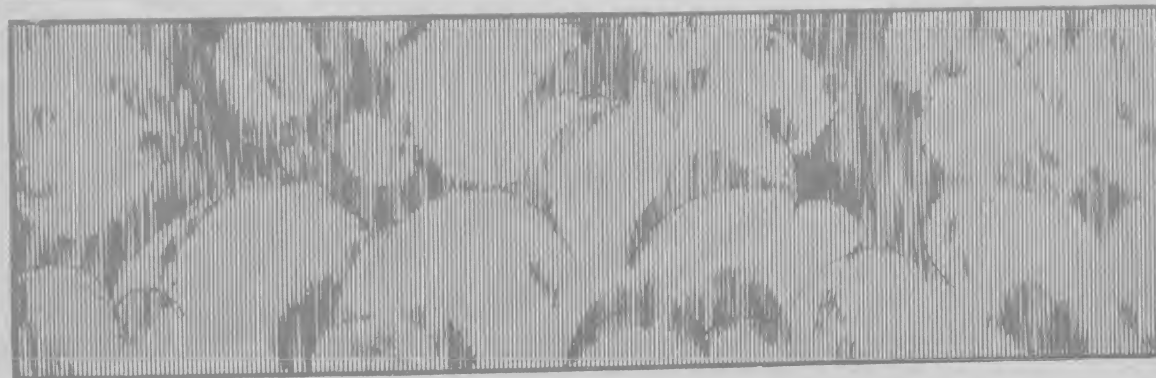


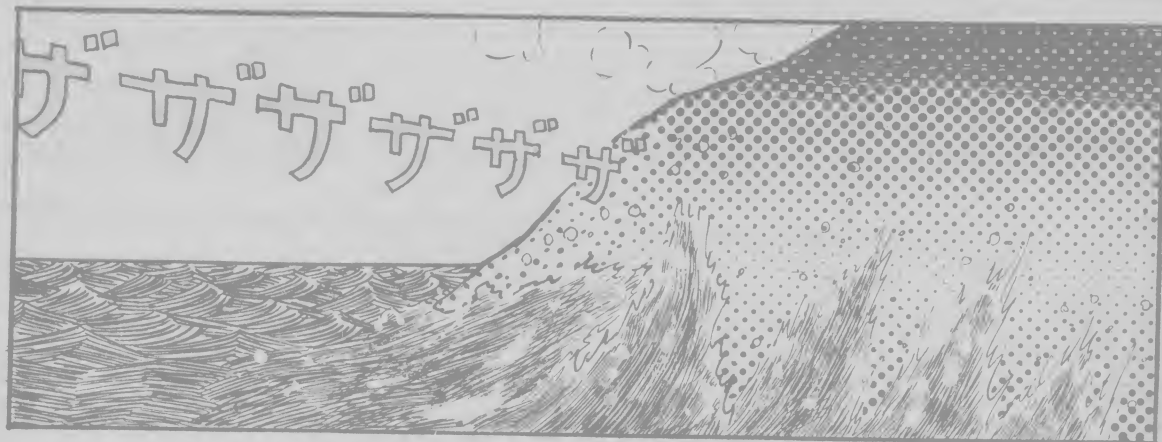
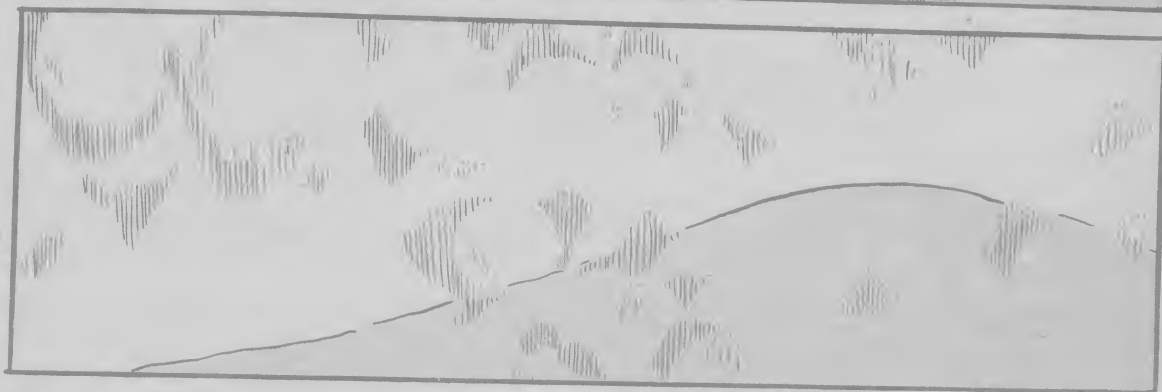


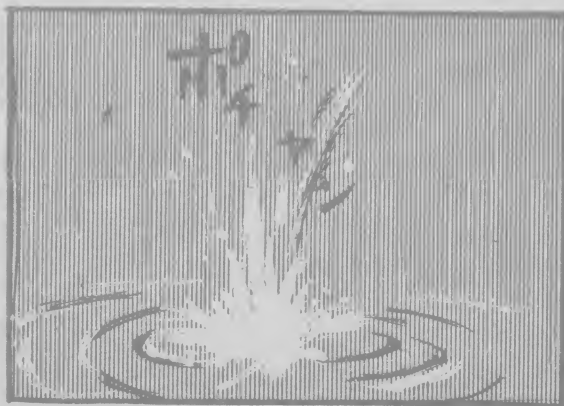
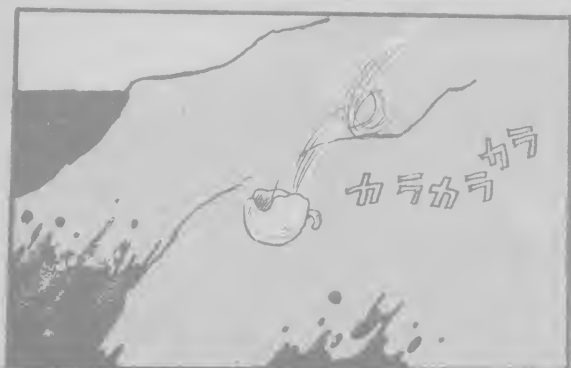
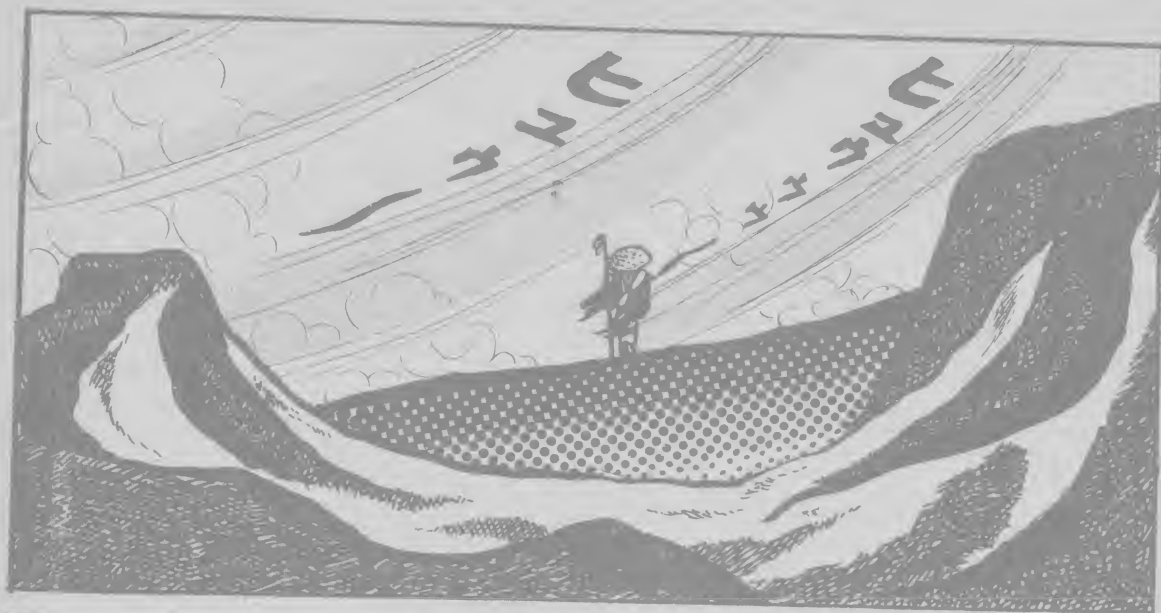




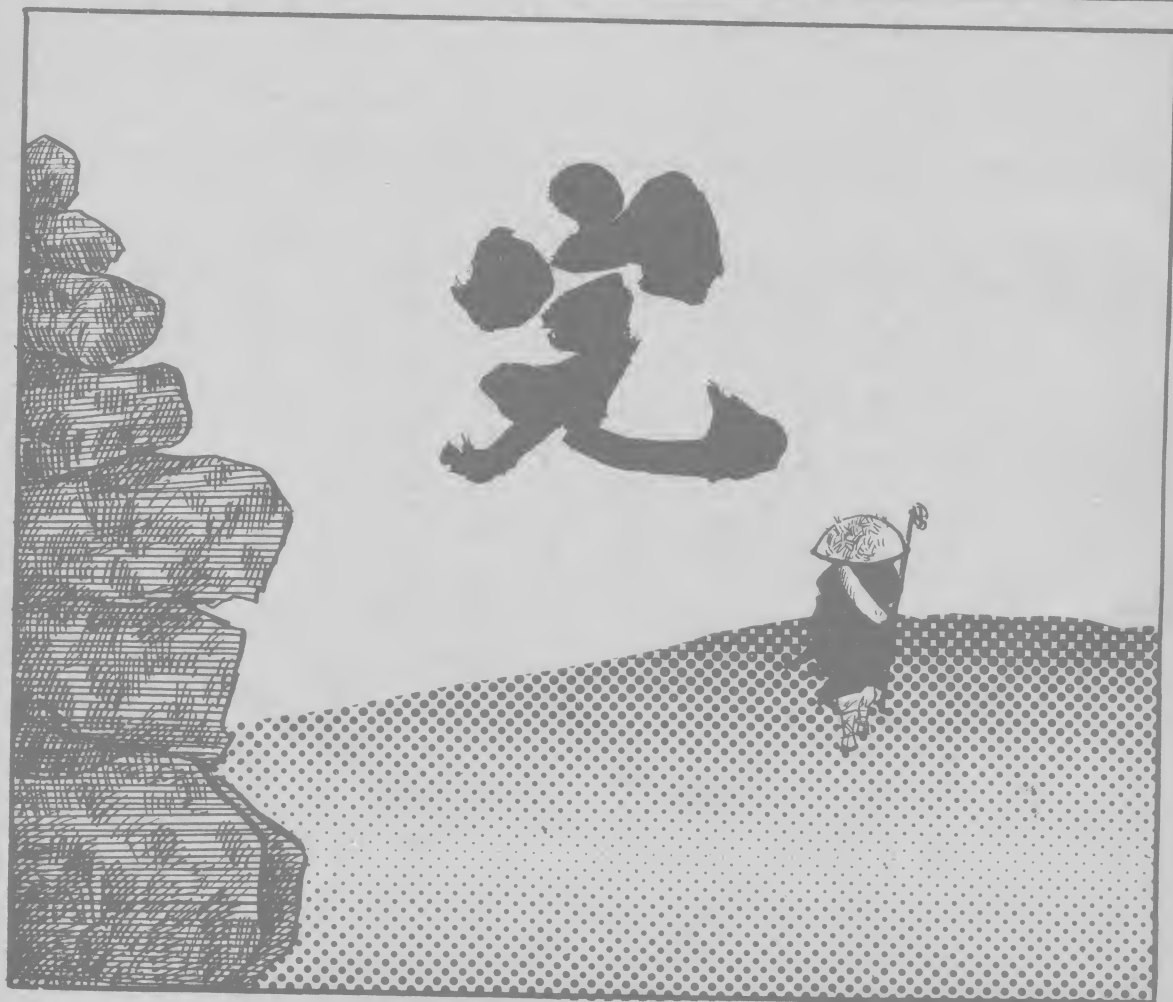








無上甚深微妙法
百千萬劫難遭遇
我今見聞得受持
願解如來真実義
我昔所造諸惡業
皆由無始貪賄癡
從身護意之所生
一切我今皆
懺悔、念念
梵燒戒定香



ガ口臨時増刊号

つげ義春特集

各誌絶讃
発売中!!

重き沈黙によって生の不条理感と実存感を見事に描きあげた秀作短篇集

▼収録作品

ね	じ	式	不思議な絵
運	命	沼	
チ	コ	初茸狩り	
通	夜	山椒魚	
李さん	一家	海辺の叙景	
紅い	花	西部田村事件	

▼評論・随筆

沈黙へ向う抒情（石子順造）
出家遁世の情念（佐藤忠男）
笑わぬオカッパの少女論（唐十郎）
水色のユーモア（竹内健）
つげ義春氏との出遇い（水木しげる）
つげ氏のプロフィール（桜井昌一）

▼附・つげ義春全作品年表

定価 一七〇円

□ご近所の書店か又は直接当社へお申込み下さい。

東京都千代田区神田神保町1の55 青林堂

わが国唯一のマンガ研究評論誌

漫画主義 第6号 発売中!

手塚治虫の時代感覚を暴く!.....菊地浅次郎

ナンセンス・マンガとエロスと暴力.....石子順造

「戦記マンガ」批判の愚さを撃つ.....梶井純

かつて劇画は「生き死」を本体とした.....権藤晋

大衆文化としてのマンガとは.....斎藤次郎

林静一の世界への彷徨.....上野昂志

座談会・子どもマンガ情況の頽廃.....漫画主義編集委員

つげ義春と「随筆」の距離.....新崎智

つげ義春作品における生理.....西脇龍宏

▼直接行動者及び直接購読者を求む 定価二〇〇円（千共）

本誌は、早稲田・文献堂、神田・ウニタ書房、新宿・西田書店、渋谷大橋・いかるが書店、大阪・青泉社でも取扱っています。

漫画主義発行所

東京都府中市朝日町二丁目二九―十一
東考社内 TEL 0423(63)7624